

カラス被害防止対策Q&A

カラスの生態やよくある質問をQ&A形式でお答えします。

Q1 なぜ、ごみを荒らすの？

A カラスはえさを求めて集積所へやってきます。

当然、食べやすいように出されたごみに多くのカラスが集まります。

逆に、えさとなる生ごみが少なかったり、外から見えない状態に出される集積所には、カラスは寄り付きません。

Q2 黄色が見えないってホント？

A カラスは黄色が見えないわけではありません。

カラスは紫外線が見えるので、ある自治体で紫外線をカットする特殊な塗料が入った黄色いごみ袋を使用したところカラス対策として効果がありました。このため、黄色がカラスに効果があると誤解されたようです。紫外線をカットする塗料が入っていなければ、黄色いごみ袋であってもカラスへの効果は変わりません。ネットの色に関係なくいかに完全にごみを覆うかがカラス対策のポイントです。

Q3 視覚・嗅覚はどんなの？

A 視覚は良いが、聴力はそれほど良くない。

視覚は、人間の五倍程度良く、紫外線も見えています。聴覚は、あまり利かず、近くのものにおいしかわかりません。

Q4 頭が良いと言われているけど？

A 記憶力と学習能力が高いことで知られています。

えさのある場所を何十か所も覚えており、記憶力は抜群です。また、カラスの頭の良さは一つに貯食習性があげられます。カラスはたくさんある食べ物を一度に食べてしまわないで貯えておく「貯食」という習性を持っています。

Q5 ごみはどのように捨てればいいのか？

A ごみの捨て方をひと工夫することがポイント。

(1) 生ごみを減らす

えさになるようなものがなければ、カラスは当然ですがやってきません。買いすぎや作りすぎを抑えて食品のごみを減らすようにしてください。

(2) 捨て方のひと工夫

目に見えたり、においがするとカラスはやってきてしまいます。そこで、ビニールや新聞紙等に包んで捨てたり、水気を切って捨てる等を行うことによって防ぐこともできます。

(3) 収集日を守る

前日の夜に捨ててしまったりすると、その間にカラスだけではなく、猫等が荒らしたりしてしまうこともあります。それらが荒らして散らばったごみにカラスが集まってしまいますので、当日の収集前までに出すようにしましょう。